



# 陽光

Vol.8  
通巻 66号

## 地域活動支援センターを知っていますか？

—「社資団」の市町村デイケア訪問—

2006年の「障害者自立支援法」施行以後、障害児・者の地域福祉分野に、民間企業が参入し始めました。県発行の「障害者ハンドブック」には、福祉サービス別に社会福祉法人、医療法人、NPO法人、株式会社等の経営する事業所の一覧が並べられています。ただし、精神障害当事者が、事業所を選ぶために必要な支援内容の情報の記載はなく、「利用者側が個別に当たらなければならない」といった障害者に対する情報提供の課題は依然として続いています。事業所数が多くなった分だけ、さらに大変です。

それでも、情報は得ようとしなければ入ってきません。知らなければそのままです。以下は、「社資団」の活動中の会話です。

- U：「地域活動支援センターのことを、他の当事者は知っているのかな」  
 S：「受診の待合中に、他の人に『風（F00）』に行っていることを話したことがある？」  
 U：「話さない。みんな黙って坐っているし、デイケアに行っている人たちは知らないかもね」  
 S：「『風（F00）』を知ったのは、何をとおしてなの？」

参加ユーザーそれぞれが、登録に至る経緯を出し合い、「風（F00）」や「光（KOO）」の援助・支援内容や活動のおもしろさを伝える必要性について話し合いました。

そして、「地域活動支援センター」に関心を持つきっかけになるかもしれないと、「社資団」は調査の実施に立ち上がりました。

下記の表1のように、市町村保健センターの精神障害者対象のデイケアに出向き、「私の地域活動支援センターの利用の仕方」を伝える活動を開始しました。

（管理者 高島 真澄）

注：「社資団」とは社会資源調査団の略。毎週木曜日、「風（F00）」において、地域の社会資源について、関心のあるユーザーが集まり調べる活動をしている。

